

あずま
東
つよし

つよしの

避難所で使う学校トイレ洋式化推進



質問に立つ東市議(6/15)

東市議は6月15日、6月議会の個人質問に立ちました。冒頭に、この日朝に強行された共謀罪に抗議し、廃止を求める立場を表明しました。

奔西走



東市議は災害時に避難所として使う公立学校の体育館や屋外トイレの洋式化を求めました。現在の洋式化率は30.9%。特に南区では25.3%、避難所として使うトイレに洋式便座が全くない学校は小学校・分校で24校中4校、中学校も10校中1校あります。

通常の学校改修への国の補助金は、工事の下限額があつて使いづらいです。東市議は下限額がなく使いやすい財源の「緊急防災・減災事業債」の活用を

太陽光発電設置に市はルールを

提案。市は「利用し、優先して整備できないか検討」と答弁しました。また東市議は公園トイレの洋式化を求め、町内会などの方々と相談して進めると答弁がありました。東市議は他に国保と太陽光発電、通学区域弾力化について質問しました。弾力化が小学校で廃止されましたが、やむを得ない場合には校区外の通学が可能です。分かりやすく配慮ある対応が必要です。



太陽光発電設置を口実に無断で伐採された林(南区飽浦)

ひょうり

大森市長は国民健康保険への政策的繰入の解消・削減を明言しました。国保料値上げに直結する答弁です。

来年度から国保の運営が市から県に移りますが、政策的繰入は今後可能で、保険料額は市が自主的に決めます。市民の運動は10年間値上げを阻止してきました。運動を広げるためにがんばります。(東つよし)

ンを示しました。住民への説明、環境や景観への影響について自治体に相談することなどを定める内容です。しかし相談に応える基準が市にはありません。東市議は質問で、市としての基準をもつことを求めましたが、答弁は後ろ向きでした。太陽光発電施設が地域で共生できるルールが必要です。